

平成13年度第1回常任委員会資料  
四国の骨材資源に関する研究委員会

平成13年度第1回委員会議事録

日時：平成13年8月9日（木）14:00～17:00

場所：グランフォーレ石松（愛媛県伊予三島市朝日1丁目1-30）

出席者：氏家勲、天羽和夫、横井克則、三好規雄、稲田健治、柳本敏雄、湯浅弘成、  
平田幸成、扇山篤広、谷口浩平、一宮桂一郎、石丸朝夫、松山哲也

議題

1. 骨材品質に関するアンケート調査結果報告

四国4県の43生コンクリート工場にアンケートを依頼

回答数：37工場（香川：7、徳島：10、高知：9、愛媛：11）

主なアンケート結果

これまでと比べた現在使用している骨材の品質

	粗骨材	細骨材
これまでと変わらない	: 30工場 (81%)	19工場 (51%)
品質の低下を感じる	: 7工場 (19%)	18工場 (49%)

今後の骨材の需給見通し

	粗骨材	細骨材
品質・需給量とも問題なし	: 25工場 (68%)	2工場 (5%)
品質に不安がある	: 6工場 (16%)	12工場 (32%)
需給量に不安がある	: 10工場 (27%)	34工場 (92%)

日本道路公団四国支社より提供いただいた圧縮強度と弾性係数の関係において、約10年前と最近とではその関係はほとんど変化していない。

2. 天然骨材以外の骨材の利用の文献調査

四国内で昭和63年以降の天然骨材以外の骨材の利用に関する文献の調査結果（88件、概要、研究機関別、材料別、利用形態別の件数）の報告がなされた。

天然骨材以外の骨材利用に関するアンケート調査（骨材の種類、骨材の品質、その骨材を用いたコンクリートの品質など）を行う。

3. 報告書

これまでの本研究委員会の活動成果を、以下の内容に取りまとめて報告書を作る。

1. 四国における骨材資源の需給の現状
2. 四国における骨材品質の現状
3. 各種骨材のコンクリートへの利用
4. 四国の骨材資源に関する提言と今後の課題

4. 次回委員会

平成13年12月19日（水）グランフォーレ石松  
報告書の内容についての検討